

下関市小学生中国派遣研修を終えて

下関市小学生中国派遣研修団 団長

下関市立檜崎小学校 校長 中島 利夫

この度、団長として中国青島市での研修に参加させていただきましたが、綿密に計画された内容と意欲的な研修生、そして、関係の皆様のご尽力のお陰で、大変充実した5日間を過ごすことができました。特に、どの訪問先においても温かい歓迎を受けたことや現地の皆様に大変お世話になったことは、深く心に残っています。

様々な交流活動や見学を通して、現地小学生の表現力の豊かさや働く人々の熱意などを目の当たりにできたことは、大きな刺激となりました。また、中国の古い歴史や近代化の波、食文化や生活習慣の違いも肌で感じることができました。実際に自分の目で見たり様々な人々とふれ合ったりする経験や体験そのものが一番の研修であることを実感した5日間でした。

子供たちは大変意欲的に取り組みました。中国語で行うあいさつや劇の台詞を一生懸命に練習し、現地の方が驚かれるくらい上手に表現することができたことや、ガイドさんや訪問先での説明を熱心にメモしたり進んで質問したりする姿が見られたことは、その一例です。また、研修以外の時間でも積極的に中国語を使うなど、結団式で前田市長さんよりいただいた言葉通り、恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、意欲的に交流することができたと思います。

そして、英語の必要性をより強く感じた5日間でもありました。見学先やホテル、レストランなど、現地では全て中国語が使われていましたが、多くの場所で片言の英語が役に立ちました。小学生との交流活動においても、子供たちは身振りや英語を使いながら意欲的にコミュニケーションをとっていました。英語が世界の公用語であることは紛れもない事実で、これからの英語教育の重要性を再認識することができました。

参加した15名の研修生は、感動したり戸惑ったりする中で、それぞれの国の文化や生活習慣の違いはもちろん、それらの壁を越えた共通の価値観にも気づくことができたと思います。この研修で学んだことを生かして、それぞれの学校で活躍することはもちろん、中学、高校へと進学する中でより広い視野と豊かな人間性を身に付け、将来、ふるさと下関を担う人材に成長してくれることを期待しています。

終わりにになりましたが、このような有意義で貴重な研修機会を与えてくださいました前田下関市長様をはじめ、総合政策部国際課、下関市教育委員会、その他関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

